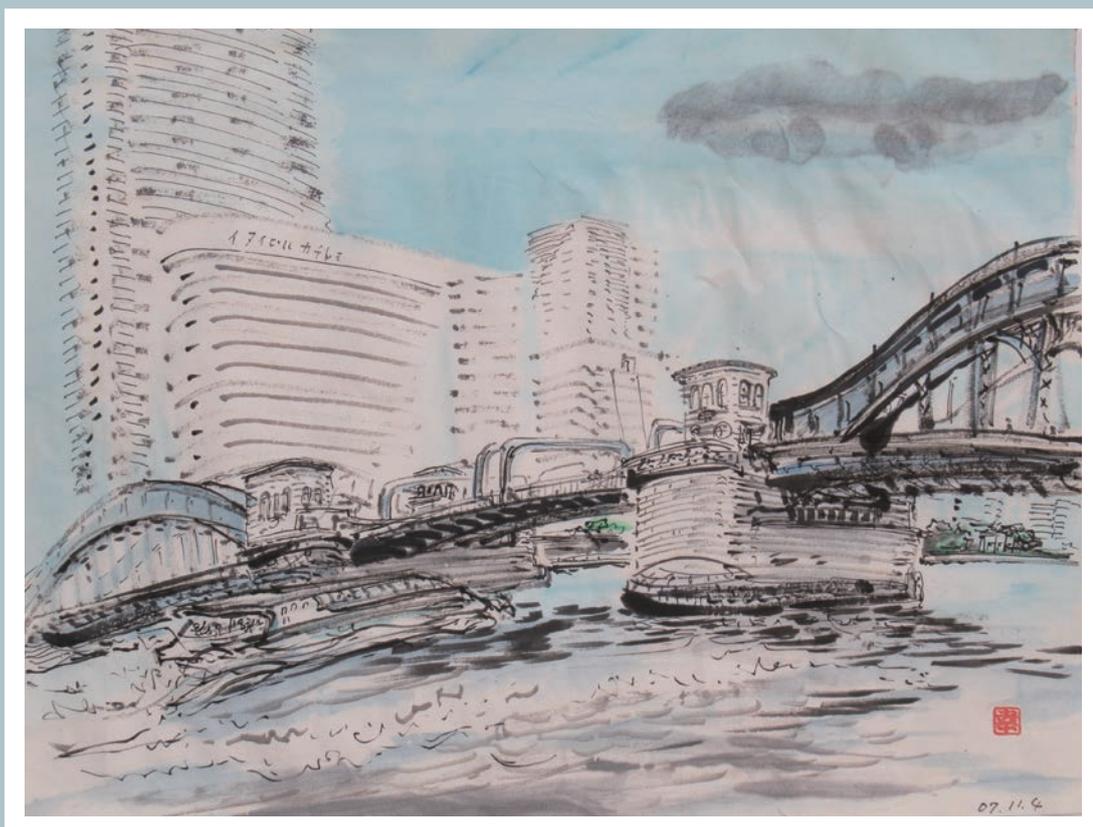


中央区文化・国際交流振興協会だより



「勝鬨橋」(1993年) 小川幸治

● 特集 ●

「鏑木清方がみた築地・京橋・日本橋」

東京国立近代美術館 主任研究員

鶴見 香織

「やさしい日本語」

聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科 教授

岩田 一成

■ 令和2年度の事業報告と決算

■ 第14回中央区まるごとミュージアム 2021



Since 1991

「鏗木清方がみた 築地・京橋・日本橋」

—没後50年 鏗木清方展を楽しむ—

- 「鏗木清方 幻の《築地明石町》三部作」
- 「来春の「没後50年 鏗木清方展」ではこをみてほしい」

東京国立近代美術館 主任研究員

鶴見香織



令和3年10月に3回にわたり開催した文化講座「鏗木清方がみた築地・京橋・日本橋」—没後50年 鏗木清方展を楽しむ—では、東京国立近代美術館主任研究員の鶴見香織氏をお招きし、その1回目に「鏗木清方 幻の《築地明石町》三部作」、3回目に「来春の「没後50年 鏗木清方展」ではこをみてほしい」と題して講演をしていただきました。大変好評でしたので、このたび講演に関連した内容について寄稿していただきました。

鶴見 香織 (つるみ かおり)



東京国立近代美術館主任研究員。専門は日本近代美術史。特に日本画。1993年より群馬県立近代美術館に勤務。2006年より現職。日本画作品の収集やコレクション展、展覧会を担当している。展覧会企画に「生誕140年菱田春草展」、「生誕150年横山大観展」等があり、現在は2022年の「没後50年 鏗木清方展」を準備中。

没後50年 鏗木清方展

会場：東京国立近代美術館 1階企画展ギャラリー
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1
会期：2022年3月18日(金)～5月8日(日)
休館日：月曜(3月21日、28日、5月2日をのぞく)、
3月22日(火)
開館時間：9:30～17:00(金曜、土曜は20:00まで開館)
主催：東京国立近代美術館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション
アクセス：東京メトロ東西線 竹橋駅1b出口徒歩3分
お問合せ：050-5541-8600(ハローダイヤル)
美術館ホームページ：<https://www.momart.go.jp>
展覧会公式ウェブサイト：<https://kiyokata2022.jp>

※開催情報は変更になる場合があります。
※ご来館前に美術館ホームページ等で開館日時や観覧料等の最新情報をご確認ください。
※美術館には駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
※展覧会は京都国立近代美術館(2022年5月27日～7月10日)に巡回します。

鏗木清方 幻の《築地明石町》三部作

かぶらききよたか
鏗木清方(1878-1972)が昭和2年(1927)に発表した《築地明石町》は、世の絶賛を受けて帝国美術院賞を受賞しました。この作品は清方の代表作であるとともに、現在でも近代日本画の傑作のひとつに数えられています。タイトルにある明石町とは、ご存じのとおり、現在の東京都中央区南部、対岸に佃島、月島を望む町の名前です。明治期に外国人居留地であった明石町は異国情緒に富み、幼いころからこの地に親しんだ清方にとって、「理想郷」のような場所だったと本人が記しています。《築地明石町》に描かれたのは、まさに清方にとって思い出深い、明治30年(1897)ごろの明石町の光景でした。

大正12年(1923)年に起きた関東大震災と、昭和への改元を経て、清方は遠のいてゆく思い出の時代を偲び、この《築地明石町》を描きました。絵のなかに立つ女性は、明治30年ごろに上流の女性たちのあいだで流行した夜会巻という髪型で、小紋の単衣に紋付の黒い羽織を着て後方を振り返っています。そのポーズはあたかも彼女自身が、遠く明治の昔を回顧するかのようでもあります。彼女は明治30年代に存在しているのでしょうか。それとも作品が描かれた昭和2年にいるのでしょうか。そのどちらでもあるように見えることが、この作品のイメージの強さに繋がっているようにも思えます。この作品は、ちょうど明治回顧のブームが起きていた昭和初期に、多くの人々の心をとらえました。

清方は《築地明石町》を描いた3年後に、同じ趣向、すなわち、「思い出の町とその場所に似つかわしい女性」という趣向で、別の町をとりあげます。それが《新富町》と《浜町河岸》であり、《築地明石町》と合せて三部作とされました。《新富町》に描かれたのは、明治11年(1878)に新築となった新富座と、その前を蛇の目をさして急ぐ新富芸者です。また、《浜町河岸》には、明治期に歌舞伎舞踊で名を馳せた二代目藤間勘右衛門がこの地に家を構えたことにちなみ、隅田川を背景に踊りの稽古から帰る町娘が描かれました。向こう岸には明治30年代にはまだ木橋だった新大橋や、関東大震災が起こるまで残っていた深川安宅の火の見櫓が描かれています。《築地明石町》を含めこの三点には、描いた当時にすでに失われていたモチーフが慎重に選ばれました。清方はそうすることで、3点の画面に失われた過去を回顧するムードを作り上げたのでした。

三部作は長らく所在不明でしたが、令和元年(2019)年に東京国立近代美術館に収蔵され、その秋に44年ぶりに公開されたことも記憶に新しいことでしょう。3点とも縦が170センチメートルを超える大作ですが、それに反して、表現はどこまでも細部にこだわって描写が尽くされています。ご覧になれるときには、ぜひ単眼鏡をご活用下さい。「没後50年 鏗木清方展」では、この三部作を展示替えなしでご紹介



するので、すみずみまでじっくりとご覧いただける千載一遇のチャンスです。

「生活をえがく」 画家、清方

「濡められて画く場合はゆる美人画が多いけれども、自分の興味を置くところは生活にある。それも中層以下の階級の生活に最も惹かるる」。

清方は昭和10年(1935)にこのように述べています。美人画で知られる清方が、本当に描きたかったものは美人画ではなく庶民の生活だったというわけです。

清方は、美人画では風景や季節の風物を添えて人生の機微をあらわそうとし、生きた社会を描こうと農村で働く女性を描いたこともありました。明治を回顧した風俗画も、人の生きざまを表現した肖像画も、人々の生活を軸にすべてつながっています。いっ

たん既存のジャンルをとりはらって考えるならば、清方芸術の大きな柱のひとつは、「生活」であったと言ってよいでしょう。今回の展覧会では作品を風俗画、美人画、風景画、肖像画といったジャンルでは分けず、市井の人々の生活をあらわした一場面として捉えなおし、メインとなる章で紹介します。

では、清方はどうやって「生活」を描いたか。それは細部を尽くすことによってです。

一例を挙げましょう。東京国立近代美術館が所蔵する《鯛》は昭和12年(1937)頃に描かれた作品です。描かれているのは明治20年代の築地界隈の光景。佃島で揚がった鯛を、少年が天秤棒をかついで売り歩く。それを長屋の若女房が呼び止めています。女房の背後には湯気や煙があがって屋根の開口部から抜けています。竈を焚いて夕餉の仕度の最中だと分かります。かたわらには簾が下がり、簾越しにきれいに整頓された台所が見通せます。筵、すり鉢、すりこぎ、まな板、焼き網……。水瓶の上に注目すると、緑と赤の何か小さなものがぶらさがっています。これは駒込富士神社で土産として売られていた麦藁蛇で、



左から
《浜町河岸》 昭和5年(1930)
《築地明石町》 昭和2年(1927)
《新富町》 昭和5年(1930)
いずれも東京国立近代美術館蔵
©Nemoto Akio



《鯛》昭和12年(1937)頃 東京国立近代美術館蔵
©Nemoto Akio

夏場の水あたり除け、疫病除けとして効能があると信じられていました。だから、水瓶の上に吊るされているわけです。また、路地には葉が黄色くなった朝顔がしおれているので、秋の夕方であることも分かります。その路地をはさんで左にあるお店には、姫糊の看板や芝居の辻番付がかり、辻番付には「大入りにつき日のべ」という札が下がります。店先には箒や駄菓子。有平糖やカルメ焼が並びます。

こんなところにまで説明を尽くさずにおられないのが清方でした。こういう描写があるのとないのとでは、情景を物語る力に差が生じます。まるで文章で光景を紡ぐかのように、絵のすみずみまで説明して止まない。そのような画家は、近代日本画家多しと言えど、清方の他にはほとんどいなかったと言えましょう。なぜなら、近代日本画で重視されたのは、大画面の構築力や造形性だったからです。それに対し、清方はあくまでも人々が共感し、楽しむための芸術を追求しました。

絵の細部に分け入るほどに、楽しい。清方の作品にはそうした一面があります。美人画を描く場合でも、女性のまわりに風景、季節を示すもの、生活の道具や品物を描き込むことがほとんどでした。女性の姿かたちや所作、いで立ちだけでは成立しない、それが他にはない清方作品の個性なのです。

「物語をえがく」「小さくえがく」

今回の展覧会は3章からなります。他の2つは「物語をえがく」と「小さくえがく」です。展覧会ではこの3つを清方の画業の三本柱だととらえています。

戯作者としてならした條野採菊を父にもつ清方は、幼い頃から読書に親しみ、一時は文学の道に進もうとまで考えたと言います。職業として挿絵画家を選んだのも、それが文学に近い世界だったから。清方は人生の機微をこうした物語にも見出し、制作の源としました。清方が耽溺した泉鏡花や樋口一葉の小説。近松門左衛門や井原西鶴、三遊亭円朝の怪談話。加えて飽きることなく通った歌舞伎の数々。清方の物語を読み込む力と表現力は、挿絵で鍛えただけに格別でした。「物語をえがく」の章では、香り高くも妖艶な、清方の物語絵を紹介します。

「小さくえがく」の章では、主題ではなく形式に注目します。清方が「卓上芸術」(清方の造語)を提唱したのは大正時代後半のこと。「卓上芸術」とは、展覧会で見せる会場芸術、床の間で愛でる床の間芸術とは別の、机に広げ手元で間近に鑑賞するような小画面の作品を指しました。形態としては画卷、画帖、色紙等が想定され、手元で見るものだけに、心行くまで細部に表現を凝らすことも、筆のおもむくままに即興的な筆技で魅せることも自在でした。この章では、「卓上芸術」が導いた新たな画境を見てゆきます。

このような章構成で紹介する春の「没後50年 籧木清方展」。展覧会では《築地明石町》をはじめ清方の代表作が並び、先に述べたような清方の個性がうかがえる作品も豊富に出品されます。清方没後50年、ほんとうの清方芸術に出会う。清方の個性を知れば、もう上村松園と区別がつかないなんて言わせません。

「やさしい日本語」

聖心女子大学現代教養学部
日本語日本文学科

教授 岩田一成

令和3年3月、ボランティア研修会で岩田一成先生が講演された「外国語ができなくても大丈夫！伝えられる『やさしい日本語』でコミュニケーション力を高めよう」は、目からウロコの内容で大好評でした。そこで、今回、新たな話題も加えて「やさしい日本語」についてご寄稿いただきました。

1. 台湾で考えるコミュニケーション

ただ今この原稿は台北のアパートで書いております。筆者はすでに半年、台湾にて外国人として暮らしています。この原稿を書き始めるにあたって、これまでに会った人を少し紹介したいと思います。

① 隔離ホテルの看護師さん

台湾に入ると新型コロナ対策で14日間の隔離があり、その期間中ひたすら電話（中国語）で指示が来ます。諸事情から途中で別のホテルに移動させられることになり、その指示をしてきた看護師さんは英語でした。こっちは中国語で話しているのに、相手はずっと英語で話し続けました。

② 携帯電話会社の若い女性店員さん

携帯電話の契約で対応してくれた店員さんは、僕の理解度を気にもせず説明を続けました。僕が何か言うと、またずーっと説明してくれます。おそらく同じようなことを言い換えて伝えてくれていたんだと思います。じわじわ〜と言っている内容が理解できました。

③ 麺屋の女性店員さん

外国人対応に慣れていないようで、「ええ〜、この人、母音の発音がちょっとこもってて、聞き取りにくいので〜ブツブツ」って声に出しながら、ちょっとパニック状態でした。ただ、この人が言っていた私の悪口は、100%聞き取れています。

④ 電気屋のレジの男性店員さん

ちょっと変な電気屋さんでした。提示価格が会員価格で、普通に買うと2割増しくらいで請求をされるのです。「どういことやねん！」と、いろいろ質問をしていたのですが、外国人対応に緊張していたようで、この店員さんは途中で固まって黙ってしまいました。

⑤ 病院のボランティアおじいちゃん

病院の入り口で、患者さんの案内をする人がいました。僕がワクチン接種会場を聞いたところ、書類の書き方から丁寧に説明してくださいました。この方の中国語は、本当に聞きやすく、話している内容がほぼわかります。書類作成も手伝ってくれるし、大変助かりました。ボランティアとして台湾人の高齢者対応をされているようです。

「やさしい日本語」とは

相手にわかりやすく伝える日本語のこと。外国人、高齢者、障がいのある方など、多くの方にとって有効であることがわかっている。すでに日本の言語政策として動き出しており、2019年『外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（改訂）』に「やさしい日本語」の活用が明記され、2020年には『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』も公開されている。



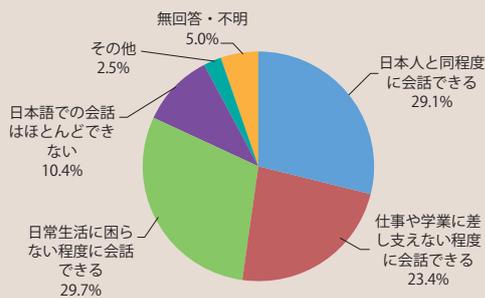
2. 体験から考える「やさしい日本語」

私が台湾で会った人を分析してみましょう。①の人は、こっちは中国語で話しているのに英語が返ってくるのであまりよい印象ではありませんでした。中国語で話しかけているのになぜ中国語で返事をしないのでしょうか。不思議です。②のように話し続けてくる人は、一瞬困るんですが、じわじわと理解が進んでいきます。じーっと聞いていると理解が進んでいくという体験でした。この方は、④のようにフリーズして固まってしまう人よりずっとありがたいです。③のように若干パニックになる人は当然困ります。逆に⑤のおじいちゃんは本当にすばらしいサポートでした。落ち着いてゆっくり、はっきりと話してくれました。

こういう体験は、やさしい日本語の心構えを考える上で重要なポイントになります。実は異文化コミュニケーションにおいて、以下のような態度の問題が非常に重要であると近年の研究でわかってきています。

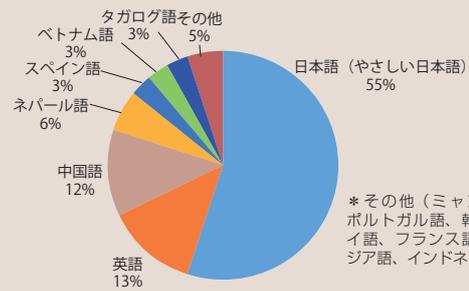
在住外国人の実態

人権教育啓発推進センター（2017）の報告によると、法務省委託調査として37都市で在住外国人対象の調査がなされ、82.2%の人が日常会話以上の日本語ができると答えている（以下のグラフは調査における日本語に関する項目）。日本語の伝達効率の高さがわかる数字である。



人権教育啓発推進センター（2017）『外国人住民調査報告書 - 訂正版 -』<https://www.moj.go.jp/content/001226182.pdf>

実際の言語運用の実態も紹介したい。以下は、外国人向けの電話相談の言語に関するデータである。新型コロナ生活相談（2020年4月17日～5月6日）で使われた言語は、以下ようになっており、やはり英語よりも日本語を選ぶ人がずっと多い。



村田陽次（2020）「東京都外国人新型コロナ生活相談センター（TOCOS）について」『令和2年5月16日 CINGA 活動報告会資料』を基にグラフ作成

「やさしい日本語」の心構え

日本語で腹をくくり英単語などは挟まない
固まってしまうことなく積極的に話を続ける
慌てず落ち着いて対応する
お年寄りに対応するようにはっきりと話す

3. やさしい日本語の作り方

以下の駅のアナウンスを例に「やさしい日本語」の作り方を少し紹介します。

お客様にお知らせいたします。この列車内で体調の悪いお客様がいらっしゃるのことで、ただいま救護手配を行っております。詳しい情報が入り次第すぐにお知らせいたします。恐れ入りますが、しばらくお待ちください。

日本語ができる外国の方でも、このアナウンスは難しいと思います。読者のみなさんは、もし駅でこのアナウンスに困っている人を見かけたら、どう説明しますか？

まずは、「日本語できますか？」と聞いてみましょう。そして、「少し待ってください。誰か体の調子が悪いです。病気かもしれません。今、その人を助けています。それで、電車は動けません。また後で連絡があります。」のように言うと、理解できる人が増えます。ポイントは以下のようになります。

「やさしい日本語」の組み立て

- ・結論を最初に言う
- ・一文を短く、語尾を明瞭に「です・ます」で切る
- ・尊敬語・謙譲語は避ける
- ・漢語よりも和語を使う

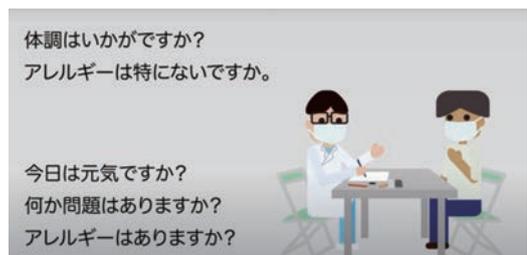
言い換え案では、「少し待ってください」という結論を最初に言っています。そして、短い文章が繋がっているのがわかると思います。元文では「お知らせいたします」「いらっしゃる」「行っております」など、尊敬語・謙譲語が使われていますが、敬語は「です・ます」だけの使用にすると日本語はわかりやすくなります。また、「救護手配」

などの漢語は理解が難しいです。可能な範囲で避けましょう。

4. 医療者向けの普及活動

私は自治体職員、学校教員、医療関係者などに「やさしい日本語」の普及活動を行っています。特に医療関係者は、新型コロナウイルスの拡大により外国人と接する機会が増えており、その対応に慣れていないため困っているという声が聞こえます。それで医療関係者向けの「やさしい日本語」普及活動には力を入れています。医療×「やさしい日本語」研究会という団体が、医療関係者向けにさまざまな情報発信を行っているのですが、筆者はその一員として活動しています。例えば、以下の画像は、新型コロナウイルスワクチン接種について、会場での分かりやすい言葉かけを示す2分半の動画の一場面です。

(<https://youtu.be/FpelMTZ5i24>)



さらに、予診票記入の際に用いる「やさしい日本語」や身分証提示の際に示すイラストを研究会ホームページに掲載しています (<https://easy-japanese.info/covid19>)。また、東京都との共同事業として病院の様々な場面で役立つ「やさしい日本語」を学ぶ動画教材も公開しています (https://youtube.com/playlist?list=PLFwRLsRI_gpDgJMNrF1bkZJ13xU-DeWA8)。様々な場面で外国籍の方と接する機会がこれから増えると思います。みなさんが少しでも「やさしい日本語」を活用して下さるなら大変うれしいです。



岩田 一成
(いわた かずなり)



聖心女子大学 現代教養学部日本語日本文学 教授
大学卒業後、日本語教師として青年海外協力隊に参加（中国内モンゴル自治区派遣）。帰国後、大学院に入って学び直し（大阪大学言語文化研究科博士後期課程修了：言語文化学）、国際交流基金日本語国際センター、広島市立大学を経て現職。
著書『読み手に伝わる公用文：やさしい日本語』の視点から / 共著『街の公共サインを点検する』『やさしい日本語で伝える！公務員のための外国人対応』『医療現場の外国人対応 英語だけじゃない「やさしい日本語」』

令和2年度の事業報告と決算

令和2年度事業報告

令和3年7月8日(木)に開催された令和3年度第1回理事会において、令和2年度の事業報告及び収支決算が審議され、承認されました。その概要を報告します。

I 文化振興事業

(1) 機関誌の発行

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行しました。

発行部数等 5,500部 A4判 8ページ

発行回数 年2回(令和2年7月—第73号、同年12月—第74号)

(2) ホームページの運営

スマートフォンにも対応した協会ホームページを適宜更新しながら、協会の概要をはじめ、事業内容やイベント等の最新情報を提供し、協会に対する理解と参加の促進を図りました。

URL: <https://www.chuo-ci.jp/>

また、twitterやfacebookを利用して情報発信も行いました。

(3) コンサートの開催

親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供しました。

日時 令和2年9月25日(金)
午後6時45分開演

会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内容 小野リサ弾き語りボサノバコンサート

出演者 小野リサ

入場者数 164名(会場定員の50%で実施)

参加費 2,000円



(4) 文化講座の開催

中央区の多彩な文化を紹介する「中央区まちかど展示館」のうち、2館から講師を迎え、まちかどに息づく歴史や伝統工芸が醸し出す江戸の心意気、匠の技について理解を深める連続講座「まちかど展示館で学ぶ『人に話したくなる! 中央区の歴史文化と技』」を開催しました。



第一回

日時 令和2年9月17日(木)
午後6時45分開演

内容及び講師 「芝居に縁の深い中央区、番付と筋書の今と昔」
公益財団法人 松竹大谷図書館
主任司書 武藤 祥子

第二回

日時 令和2年9月24日(木)
午後6時45分開演

内容及び講師 「江戸べっ甲と粋な和装小物の魅力」
銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館 株式会社 かなめ屋柴田
代表取締役社長 柴田 光治

第三回 ※諸般の事情により中止としました。

日時 令和2年10月1日(木)
午後6時45分開演

内容及び講師 「日々の生活を彩る下町の染物」
染物展示館・虎の檻 有限会社

高虎商店 職方 高林 晋

会場 日本橋公会堂第3・4洋室

参加者数 延65名(会場定員の50%で実施)

参加費 無料

(5) 特別文化講演会の開催

各展覧会に関連した講演会(入場無料)を、NHKとの共催により開催し、区民等の文化意識の向上を図ります。

※新型コロナウイルスのため中止としました。

特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」

関連文化講演会

開催予定

日時 令和2年5月1日(金)
午後6時50分開演

会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

講師 国立科学博物館 副館長兼人類

研究部長 篠田 謙一

国立科学博物館 植物研究部

研究主幹 國府方 吾郎

定員 424名

以降、展覧会が開催されないため、講演会の開催計画はありませんでした。

(6) 古典芸能鑑賞会の開催

中央区に深い関わりを持つ古典芸能を鑑賞する機会を提供することで、由緒ある伝統文化に対する愛着心を育み、その継承・普及を図ります。企画・制作は、「中央区古典芸能の会」に委託しています。

※新型コロナウイルスのため中止としました。

開催予定

日時 令和2年6月6日(土)
午後5時開演

会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

内容 講話 「中央区郷土よもやま話

弥次喜多と十返舎一九」

舞踊 清元 「三社祭」

琉球舞踊 古典女踊り 「本嘉手久節」

落語 「ちりとてちん」

新作邦楽 「弥次喜多・東海道中膝栗毛 in 中央区」

定員 424名

参加費 2,000円(中学生以下1,000円)

(7) 文化推進事業助成

区内文化活動をさらに促進していくために、区民等による文化活動等に対し、その経費の一部を助成するとともに、後援を行いました。

(助成)

①文化創造・発信事業助成

助成金額:当該事業の対象経費の9/10の範囲内(上限200万円)

助成件数:ア 令和2年度助成件数(令和元年度決定):3件

イ 令和3年度助成予定件数(令和2年度決定):3件

②文化団体活動助成

助成金額:当該団体活動の対象経費の1/2の範囲内(上限40万円)

助成件数:ア 令和2年度助成件数(令和元年度決定):3件

イ 令和3年度助成予定件数(令和2年度決定):3件

③文化推進事業助成

助成金額:当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

助成件数:0件

(後援)

後援件数:6件

(8) 中央区まるごとミュージアムの開催

文化・芸術の秋の一日、本区のさまざまな文化的魅力を体験できる第13回「中央区まるごとミュージアム2020」を中央区と共催で実施しました。

日時 令和2年11月8日(日)
午前9時～午後5時

場所 中央区全域

実施結果

・乗船人数(日本橋周遊、明石町水辺ライン周遊及び晴海周遊ルートの3コース)

合計1,128名

・イベント事業数 36事業及び3協賛事業

・イベント参加人数 延27,000名

(9) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言(平成20年3月中央区文化振興懇談会提言)に基づき、中央区と協会が協力して区民(企業、NPO等を含む。)の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成20年度に文化への関心が高い専門家等からなるプロデュースチーム(構成員6名)を設置しました。

令和2年度は、まるごとミュージアム2020の事業者連絡会に出席し意見を述べていただくとともに、まちかど展示館の運営状況をはじめ、区内全体の文化事業の推進について協議を行いました。

II 国際交流振興事業

(1) 国際交流のつどいの開催

外国人と日本人との交流を推進するため、協会登録ボランティアが主体となり、日本と外国の伝統文化や料理、踊りなどを紹介する交流イベントを通して相互の親交を深めています。

※新型コロナウイルスのため中止としました。

開催予定

日時 令和2年11月14日(土)
正午～午後4時

会場 築地社会教育会館

内容 ○伝統文化体験コーナー

○懇談コーナー

○国際交流サロン

○防災コーナー等

参加費 無料

(2) 国際交流サロンの開催

区内在住・在勤の外国人と日本人との交流を推進するため、協会登録の国際交流サロンボランティアの協力を得て、日本文化等を体験できるイベントを11月を除く毎月1回、土曜日に開催しました。

※新型コロナウイルスのため、4月から8月まで及び1月から3月までは中止としました。9月、10月、12月の3回開催。

会場 築地社会教育会館他

内容 ポッチャを体験してみよう、お香についてみんなで学ぼう、歌舞伎のおもちゃ箱

実施回数 3回

参加者数 外国人延21名、日本人延30名、ボランティア延23名

参加費 無料



歌舞伎の実演

(3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤の外国人を対象に、協会登録の日本語ボランティアによる語学の指導及び学習者との交流を深める場として、通年で教室を運営しました。

また、教室受講希望者の増加や多様化する要望に対応するため、区内で活動するボランティア主催教室に対して、運営費の一部を助成したほか、後援名義の使用、学習者紹介等の支援を行いました。

※新型コロナウイルスのため、実施回数及び時間を変更して開催しました。



(4) 日本語指導者養成講座の開催

日本語教室受講希望者の増加に対応するとともに、協会主催教室やボランティア主催教室の充実を図るため、日本語指導者を養成する協会独自の講座を年1回開催しています。

※新型コロナウイルスのため中止としました。

期 間 令和2年5月～9月 22回(44時間)

受講者数 25名程度

講 師 明海大学外国語学部日本語学科
准教授 西川 寛之

会 場 協会講習室、新富区民館

参加費 無料

(5) 日本語ステップアップ講座の開催

ア コロナに負けるな! CCIEA オンライン講座
新型コロナウイルスのため、日本語教室を休止している期間を有効活用し、日本語ボランティアの意欲向上とスキルアップを図るため、オンライン講座を開催しました。



期 間 令和2年6月～7月 3回(2時間)

受講者数 延125名

講 師 明海大学外国語学部日本語学科
准教授 西川 寛之

会 場 ZOOMによるオンライン開催

参加費 無料

イ 日本語ステップアップ講座

各日本語教室で活動する日本語指導者の学習需要に対応するとともに、指導力・技法のレベルアップを図るため、ステップアップ講座を開催しました。

期 間 令和2年11月～令和3年2月

4回(8時間)

11月6日(金)、12月4日(金)

午後6時45分～8時45分

対面・ライブ配信

1月22日(金)、2月24日(水)

午後5時00分～11時59分

講座(2時間)を録画配信

受講者数 延154名

講 師 公益社団法人 国際日本語普及協会
へ講師派遣を委託

会 場 協会講習室

参加費 無料

(6) ボランティア活動支援

日本語教室の日本語指導者をはじめとする各種の協会登録ボランティアの活動を支援するとともに、中央区からの要請を受け、区の事業実施時に協会登録の通訳ボランティアを派遣しました。また、協会登録ボランティアの活動強化、ボランティア間及び協会との連携強化等を図るため、ボランティア研修会を開催しました。



①ボランティアの種類及び登録者数(令和3年3月末日現在)

登録者数: 335名(実人員。次の区分では複数登録あり)

- 通訳・翻訳ボランティア: 89名
- イベントスタッフボランティア: 176名
- 日本語ボランティア: 216名
- 国際交流サロンボランティア: 11名
- 防災語学ボランティア: 51名

②ボランティアの派遣・活動(令和3年3月末日現在)

ア 通訳・翻訳ボランティア
延11名(保健センターにおける1歳6か月児健診など)

イ イベントスタッフボランティア
1名(国際交流サロンにおけるポッチャの講師)

③ボランティア研修会

日 時 令和3年3月4日(木) 午後3時～4時30分 対面講座
令和3年3月5日(金) 午後2時～3月21日(日) 午後11時59分まで 録画配信講座

会 場 協会講習室

演 題 外国語ができなくても大丈夫! 伝えられる「やさしい日本語」でコミュニケーション力を高めよう

講 師 聖心女子大学現代教養学部日本語
日本文学科 教授 岩田 一成

参加者 協会講習室受講11名 録画配信

受講46名

参加費 無料

(7) 姉妹都市親善写真展

姉妹都市ザザランド市と本区との一層の親善を深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を交換し、写真展を中央区役所1階、日本橋区民センター1階及び月島区民センター1階で開催しています。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、同市でもイベントや行事が中止となり、同市から写真提供が困難と申し出があったことから、写真展を中止としました。

(8) 外国客船の歓迎式

東京港晴海埠頭で外国客船入港時に行われる歓迎行事に参加し、記念品を贈呈しています。

主 催 東京都港湾局、一般社団法人東京都
港湾振興協会

入 港 なし

(9) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流を振興するため、区民が主体となって行う国際交流事業に対して、事業の実施に要する経費の一部を助成及び後援を行っています。

助成金額: 当該事業の対象経費の1/2の範囲内(上限10万円)

助成及び後援件数: 0件

令和2年度決算

<収入>

科目	決算額(円)	説明
事業収入	327,500	コンサート事業収入等
区補助金	102,985,000	中央区からの補助金
寄付金	0	
雑入	357	預金利子
収入合計	103,312,857	

<支出>

科目	決算額(円)	説明
事業費	51,112,764	
文化振興費	49,858,706	機関誌の発行、コンサート、文化講座、特別文化講演会、古典芸能鑑賞会、文化推進事業助成、中央区まるごとミュージアム、文化振興プロジェクトスチーム
国際交流振興費	1,254,058	国際交流のつどい、国際交流サロン、日本語教室、日本語指導者養成講座、日本語ステップアップ講座、ボランティア活動支援、姉妹都市親善写真展、外国客船等の歓迎式、国際交流推進事業助成
管理費	37,971,662	
人件費	34,511,058	職員の給与
管理運営費	3,460,604	理事会、事務費
予備費	0	
合計	89,084,426	
区返還金	14,228,431	中央区補助金の精算返納
支出合計	103,312,857	

協会主催の日本語教室

①水曜日教室

※新型コロナウイルスのため、4月～10月、1月～3月は中止
日 時 毎月第1・第2・第3水曜日(8月を除く) 午後6時30分～8時
会 場 女性センター「ブーケ21」
実 施 回 数 5回
参 加 者 数 外国人 延36名、ボランティア 延25名

②木曜日教室

※新型コロナウイルスのため、4月～8月、1月～3月は中止
日 時 毎月第1・第2・第3木曜日(8月を除く) 午前10時～11時45分
会 場 新富区民館
実 施 回 数 11回
参 加 者 数 外国人 延99名、ボランティア 延100名

③土曜日教室

※新型コロナウイルスのため、4月～8月、1月、2月は中止
日 時 毎月第2・第3・第4土曜日(8月は第2・第3土曜日を除く) 午前10時～正午
会 場 新富区民館
実 施 回 数 9回
参 加 者 数 外国人 延52名、ボランティア 延68名

協会が支援する日本語教室

①ワールドフレンズ日曜にほんごクラブ

※新型コロナウイルスのため、4月～8月、1月、2月は中止
日 時 毎週日曜日 午前10時～11時30分
会 場 日本橋社会教育会館
実 施 回 数 12回
参 加 者 数 外国人 延47名、ボランティア 延43名

②日本語おたすけたい

※新型コロナウイルスのため、4月～9月、1月～3月は中止
日 時 月曜日(月3回) 午後7時～8時30分

会 場 日本橋社会教育会館

実 施 回 数 8回

参 加 者 数 外国人 延13名、ボランティア 延43名

③月島日本語倶楽部

※新型コロナウイルスのため、4月～8月、1月、2月は中止
日 時 毎週火曜日(8月を除く) 午前10時～11時50分
会 場 月島社会教育会館

実 施 回 数 12回

参 加 者 数 外国人 延27名、ボランティア 延64名

④日本語コミュニケーション・パートナー

※新型コロナウイルスのため、4月～7月、2月、3月は中止
日 時 火曜日(月3回) 午後7時～8時30分
会 場 新富区民館

実 施 回 数 15回

参 加 者 数 外国人 延68名、ボランティア 延75名

⑤銀座日本語教室

※新型コロナウイルスのため、4月～10月、12月～2月は中止
日 時 毎月第1・第2・第3水曜日(8月を除く) 午前10時～11時30分
会 場 築地社会教育会館

実 施 回 数 3回

参 加 者 数 外国人 延4名、ボランティア 延16名

⑥にこにこ日本語

※新型コロナウイルスのため、4月～7月、1月、2月は中止
日 時 木曜日(月3回)(8月を除く) 午後7時～8時30分
会 場 佃区民館

実 施 回 数 17回

参 加 者 数 外国人 延147名、ボランティア 延128名

⑦にほんご生活

※新型コロナウイルスのため、4月～3月オンラインで実施
日 時 毎週土曜日 午後2時～3時45分
会 場 ZOOMによるオンライン開催

実 施 回 数 95回

参 加 者 数 外国人 延665名、ボランティア 延391名

第14回 中央区まるごとミュージアム 2021

暖かい秋の日差しのなか、11月14日(日)、第14回「中央区まるごとミュージアム2021」を開催しました。オンラインコンテンツも充実した今年、多くの皆さまに中央区の歴史と文化を満喫していただきました。

明石町水辺ライン周遊ルートにて船上より

11/14(Sun)
10:00 ~
16:00

中央区全域をひとつの大きな“ミュージアム”に見立て、銀座・日本橋・晴海の3つのエリアで多彩な文化と歴史にまつわる催しを展開する、秋の恒例イベント「中央区まるごとミュージアム」。今年も、わが町の魅力を再発見して楽しもうと、たくさんの皆さまにお出かけいただきました。新型コロナウイルス感染症の流行による影響が続くなか、昨年引き続き「巡回バス」の運行は見送られましたが、36ものイベントが実施され、のべ29,000人の方にご参加いただきました。

今年は新たに、スマートフォンなどで楽しめるオンラインコンテンツが充実。イベント内容やスポットの解説も見られる「オンラインマップ〈写真①〉」、各イベント会場に設置された二次元コードを読み込んで集める「デジタルスタンプラリー」などが導入され、利便性が向上するとともに楽しみ方が広がりました。

催しでは、2024年より一万円紙幣の顔となる、中央区とゆかりが深い渋沢栄一に関連するイベントが多数開催されました。「まるごとミュージアム特別講演会 福澤諭吉の経営思想と渋沢栄一の事業理念」や「日本橋図書館展示 日本橋ゆかりの渋沢栄一」をはじめ、「まち歩きツアー／中央区近代建築物100選めぐりコース〈写真②③〉」では、かつて渋沢邸だった「日証館」や、渋沢氏が“縁起石”として生涯大切にしていた「赤石」が設置された新スポット「KABUTO ONE〈写真④〉」などを巡りました。同ツアーではこのほか、銀座を代表する歴史建築「和光ビル」「教文館ビル」「奥野ビル」や、昭和レトロな看板建築、老舗和食店の木造数寄屋造り〈写真⑤〉などをたっぷり2時間かけて堪能。中央区文化財サポーター協会のメンバーによるガイド付きの充実のバス&散歩ツアーに、参加者の皆さんも大満足の様子でした。

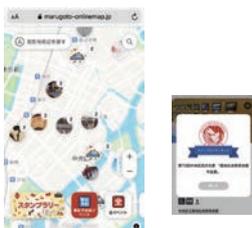
「京橋図書館 昭和レトロな閉架書庫ガイドツアー〈写真⑥〉」では、ふだんは一般に公開されていない図書館のバックヤードに入ることができました。今では珍しくなった2層

式構造の非日常空間を、司書の皆さまの解説付きで案内いただきました。2022年度中に移転が決まっている京橋図書館の裏側を知る、貴重な機会となりました。

毎年大人気の周遊船は、コロナ対策のため事前予約制となり「中央区が誇る水辺の魅力を体感！」と題して、「日本橋周遊ルート」「明石町水辺ライン周遊ルート」「朝潮周遊ルート」の3ルート・計55便が運行されました。聖路加国際病院の裏手から発着する「明石町ルート」では、ビルの合間に東京タワーを望みながら、築地市場跡や浜離宮庭園を眺めて船が進みました。正面にレインボーブリッジが見える晴海客船ターミナルの先で旋回し晴海運河へ。豊洲市場を横目に晴海大橋をくぐる頃、こんどはスカイツリーが見え隠れ。東京の名所を船上から一度に楽しめる、贅沢な35分間のクルージングでした。

「第73回中央区民文化祭『築地社会教育会館作品展』」では、絵画、写真、生花、篆刻、書など区民の皆さまの力作がずらりと並びました。心のもった作品に気持ちが和んだのは「福祉センター 作品展〈写真⑦〉」。川柳コーナーでは一般投票も行われました。壮観だったのは「THE銀座RUN Ethical ∞ Meeting〈写真⑧〉」。個性豊かなクラシックカーが一堂に集まり、あちらこちらで車談議に花が咲いていました。子供たちを夢中にさせたのは、けん玉、凧、警察車両などに関するイベント。「タイムドーム明石」のプラネタリウムも大人気でした。

アート、伝統文化、歴史・まち、環境、音楽など幅広いイベントの数々を通じて、小さなお子さまからシニアの皆さままで、みんなが中央区の魅力を感じ思い思いに楽しんだ秋の1日。コロナ禍のなか、ご参加いただきました皆さま、ご協力を賜りました多くの関係者の皆さま、ご協賛各社さまに対し、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。来年の秋もまた「まるごとミュージアム」でお会いしましょう！



① デジタルスタンプラリーではスマホでスタンプを入手



② 渋沢栄一ゆかりの銀行発祥の地の前で



③ 渋沢栄一邸宅跡地に建てられた歴史資産、日証館



④ 日本橋兜町の新たなランドマーク KABUTO ONE



⑤ 味わいのある木造数寄屋造りのうなぎの喜代川



⑥ レトロな書庫に時を忘れて



⑦ 福祉センターに通う方々の力作



⑧ 20世紀以前に作られた個性豊かなクラシックカー

表紙 勝鬃橋(かちどきばし) 小川 幸治

隅田川にかかる昭和15年竣工の可動橋である。開閉していた当時は、橋の中央から左右にそれぞれ斜めに跳ね上がる。橋の下には3,000トン級の船が通行可能になる。月島と築地(元は小田原町)を結び全長246m、巨大な橋の床が跳ね上がると、人も車も都電も足止めを受けるが、その巨大な壁から砂が音をたてて落ちる光景と、大きな船舶の行く姿を目前にして、静かに見守っていた。

特集は、東京国立近代美術館主任研究員の鶴見香織氏に、本年10月に開催した文化講座「竊木清方がみた築地・京橋・日本橋」一没後50年 竊木清方展を楽しむと題して講演をお願いしたところ大変人気が高かったので、講演に関連した内容でご寄稿いただきました。「やさしい日本語」は、本年3月に開催したボランティア研修会で聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科岩田一成教授からの「外国語ができなくても大丈夫! 伝えられる『やさしい日本語』でコミュニケーション力を高めよう」のお話が大変好評でしたので、内容を充実させてご寄稿いただきました。14回目を迎えた「まるごとミュージアム2021」は、暖かい秋の日差しのなか11月14日(日)に開催し、36の多彩なイベントが繰り広げられ、延べ29,000人の方に中央区の文化的な魅力を満喫していただきました。